



<p>II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 緊急時に対応が特に必要な工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 10. その他 (理由： )</p> <p>※上記の対応事項に1つ以上、該当事項があれば、6点の加点とする。</p>	<p>4. について</p> <p>① 供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁等の工事。</p> <p>② 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。</p> <p>5. について</p> <p>① ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。</p> <p>② 地元調整や環境対策等の制約が多い工事。</p> <p>6. について</p> <p>① 市街地での夜間工事。</p> <p>7. について</p> <p>① 日交通量が概ね1万台以上の道路で、片側交互通行の交通規制をした工事。</p> <p>8. について</p> <p>① 緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。</p> <p>9. について</p> <p>① 作業現場が広範囲に分布している工事。</p> <p>10. について</p> <p>① 施工ヤードの広さや高さ制限があり、機械の使用等、施工に制約を受けた工事。</p> <p>② その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。</p> <p>③ 一般船舶の航行が多く、工事実施にあたり、関係機関等との調整及び施工上の制約が多い工事。</p> <p>④ 有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った建築工事。</p>	<p>③ 監視等の結果に基づき、工法の変更を行った工事。</p> <p>③ そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。</p> <p>② D I D 地区での工事。</p> <p>② 工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。</p> <p>⑤ 特に困難な調整を要する他工事（近接工区）が複数ある建築工事。</p> <p>⑥ 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある建築工事。</p> <p>⑦ 施設を使用しながらの工事で、肯定的な制約が特に厳しい建築工事。</p>
--	---	---

	<p>III 厳しい自然・地盤条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 15. その他</p> <p>(理由： )</p> <p>※上記の対応事項に1つ以上、該当事項があれば、4点の加点とする。</p>	<p>11. について</p> <p>①河川内の橋脚工事等において地下水位が高く、ウエルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。</p> <p>②支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。</p> <p>12. について</p> <p>①港湾、海岸、海上又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。</p> <p>②潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事。</p> <p>13. について</p> <p>①急峻な地形のため、作業講台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事（法面工は除く）。</p> <p>②斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。</p> <p>14. について</p> <p>イヌワシ等の猛禽類等の貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。</p> <p>15. について</p> <p>①その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。</p> <p>②その他、災害等における臨機の措置のうち、特に評価すべき事項が認められる工事。</p>	<p>③施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数等を的確に把握する必要が生じた工事。</p> <p>③潮流が早い、又は潮位差が大きい海域のため、施工工程及び作業時間の制約や刻々と変化する状況を克服する技術を要する工事。</p> <p>④施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。</p> <p>③土砂流危険渓流に指定された区域内における工事。</p> <p>④逆巻施工の対応が必要な工事。</p> <p>③冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた建築工事。</p> <p>④液状化対策工法や地盤改良を伴う建築工事。</p>
	<p>IV 長期工事における安全確保への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事（全面一時中止期間を除く）。※ただし、文書注意に至らない事故は除く。</p> <p><input type="checkbox"/> 17. その他</p> <p>(理由： )</p> <p>※上記の対応事項に1つ以上、該当事項があれば、6点の加点とする。</p>		
<p>評 価</p>	<p>評点 _____ 点</p>	<p>【工事特性の詳細評価】</p>	

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。 ※2. 監督員が評価する「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。 ※3. 評価にあたっては、監督員等の意見も参考に評価する。